

令和7年度第3回 岡崎市公園協議会

議事要旨

日 時：令和8年3月18日（水） 10時00分～11時00分

場 所：岡崎市役所 西庁舎 704室

出席者：【委員（敬称略）】

靱井 泰晴（観光関係団体）

平岩 幸一（地元団体）

本多 孝美（地元団体）

小松 恵利子（地元事業者）

佐谷 繁（地元団体）

神谷 起世子（公園利用者）

平良 涼花（イベント利用者）

奥田 信（公園緑地課長）

欠席者：藤井 伸昌（地元事業者）

【事務局】

岡崎市：都市基盤部公園緑地課

指定管理者：ホームックス株式会社

■開会（事務局）

（事務局より挨拶）

- ・今回の協議会を行うにあたり、岡崎市公園協議会設置要綱第5条第2項により、出席委員が過半数に達しているため、次第に従って進めていく。傍聴人は1人。

■協議事項 令和8年度の籠田公園等の指定管理者募集について

（事務局から「資料1 令和8年度の籠田公園等の指定管理者募集について」に沿って概要説明）

（協議・質疑応答）

（靱井会長）

- ・資料に記載のある（2）の精算項目とはなにか。

（事務局）

- ・乙川増水時の災害対策費用について、現状はフットライトや手すり撤去等の対策業務は何回実施しても金額は固定だが、精算項目にすることで、想定以上の業務回数になったら市が補填し、想定以下だったら市へ指定管理料を返還してもらうことができ、実情に合わせる事ができる。

（靱井会長）

- ・同じ資料の（3）の還元金とはなにか。

（事務局）

- ・籠田公園地下駐車場の利益から籠田公園指定管理者に100万円をイベント費用として還元するお金のこと。現在は回遊促進イベントと＃QURUWAと暮らすの費用に充てているが、今後はイベント以外でも使えるよう検討をしたい。

（平岩委員）

- ・同じ資料の（4）の中にあるイベントについて実施可能な体制とあるがなにか。今のイベント時の音の基準を緩めるという意味合いか。

(事務局)

- ・イベント時の音の基準については 70 デシベル以下としている。これは法令で決められているものであるが、国の特区に申請しこの規制の適用を受けない手続きをするか、もう一つは、盆踊りやジャズストリートなどの地元主催のイベントは規制の範囲外なので、この解釈の範囲を拡大するか、基本的には後者の方法で規制緩和ができればと考えている。

(平岩委員)

- ・街中でエリアも狭いので収益を上げるために規制を緩和するのはあまり良くないのではないかと。

(本多委員)

- ・音の問題は今の状態である程度地域住民の理解も得られていると思うので、今の状態からあまり変えてほしくない。

(事務局)

- ・ご意見を踏まえて、規制緩和の是非について検討します。

(神谷委員)

- ・子どもの声が騒音と言われることが無いよう、これ以上ルールを厳しくしないでほしい。

(小松委員)

- ・収益を上げることは大切なことだと思うが、地域住民も楽しめるイベントの仕組みを考えることも必要だと思う。

(佐谷委員)

- ・商業エリアの公園ではあるが、街中にある公園なのでその辺りのバランスを考えるのは難しいと思う。今は利用ガイドブックを見て音楽イベントができない公園とっている方もあるので、ルールの中であれば音楽イベントの開催も可能であり、地域住民も含めイベント主催者ともコミュニケーションを取りながら仕組みを考える必要がある。

(平良委員)

- ・収益を上げたいのは市なのか、イベント事業者なのか。

(事務局)

- ・収益が上がれば市から指定管理者へ支払う委託料が減る、またそもそもイベント事業者の収益が上がらないと持続可能なイベントとならない、なのでどちらもである。

(平良委員)

- ・収益を増やす、イベントを増やすのはいいが、利用料は上げないでほしい。資金がある人のみがイベントできる状態にはならないでほしい。

(平岩委員)

- ・収益も大事だが、イベントをやることだけが公園ではないので、公園の使い方を広い意味で考えてほしい。

(本多委員)

- ・以前と比べ今は地域住民へのイベントPRがしっかりできているので、今後も地域住民への丁寧なPRをお願いしたい。

(奥田委員)

- ・皆さんの声をしっかり聴いて、公園の使われ方を考えていきたい。

(佐谷委員)

- ・大きなイベントの数を増やすのではなく、日常の中での小さな利用が増えていった方が良くと思う。それが収益やエリアの価値を向上させるのではないかと。

(柁井会長)

- ・籠田公園地下駐車場の収益は当初の計画より良いのか。

(事務局)

- ・計画は新型コロナウイルスの影響を考慮したものにはなっているが、計画よりは良い結果となっている。

■報告事項①桜に関する進捗等について

(事務局から「資料2 桜に関する進捗等について」に沿って概要報告)

(質疑応答)

(萩井会長)

- ・植樹をしてどのくらいで見頃になるのか。

(事務局)

- ・5～10年かけて育てていき見頃を迎える。

(萩井会長)

- ・吹矢橋下流左岸の植樹の場所は河川区域外か。

(事務局)

- ・河川区域内だが、基準に則り植樹を行っている。

(平岩委員)

- ・地元としても応援しているので引き続き頑張ってもらいたい。

(神谷委員)

- ・最近ニュースにもなっているが、高齢化した桜は倒木の心配はないか。

(事務局)

- ・花が咲かないだけですぐ倒木するというものではないが、新しい芽が出る可能性があるので倒木の対策をしつつ、様子を見ていきたい。

(本多委員)

- ・将来的に桜のトンネルみたいになるのか。

(事務局)

- ・資料はイメージだが、そうなることを期待している。

(小松委員)

- ・切った桜はどのようにしているか。チップにするなど活用方法を考えた方が良い。

(事務局)

- ・現在は公園で伐採した木は薪にして売っているが、活用方法は今後の計画の中で検討していきたい。

(奥田委員)

- ・本日午後吹矢橋下流左岸で植樹式を行う。3月26日には岡崎城公園でも植樹式を行う予定だが、こちらは生徒市議会でも取り上げられたこともあり中学生に声掛けをする予定である。また、確定していないが、クラウドファンディング第3弾を検討している。

(神谷委員)

- ・クラウドファンディング以外に桜を見に来た方が直接募金をする方法はないのか。

(事務局)

- ・桜まつり期間中に募金箱を設置する計画をしている。

■報告事項②東公園利用ガイドブックの策定後の活用状況について

(事務局から「資料3 東公園利用ガイドブックの策定後の活用状況について」に沿って概要報告)

(質疑応答)

(萩井会長)

- ・報告のあったイベントの集客は多かったのか。

(事務局)

- ・冬季という事もあり、集客はあまり伸びなかった。

(萩井会長)

- ・今後、東公園の活用について積極的な呼びかけを行うのか。

(事務局)

- ・現時点でその予定はない。

(平岩委員)

- ・報告のあったイベントを主催した団体はどういった団体か。

(事務局)

- ・主催者はホームーズマルシェという団体で、フェニックスフェスというイベント名で県内でも実績がある。

(平岩委員)

- ・公園が正しく使われているのであれば賑やかになって良いのではないか。

■その他

(質疑応答)

(小松委員)

- ・1月～2月に支援ボックスでやっていた豚汁販売はどうだったのか。

(事務局)

- ・収支的には初期投資が掛かった分赤字ではあるが、常連の方もおり好評をいただいた。

(小松委員)

- ・1日だけでも支援ボックスを貸し出してもらうことは可能か。

(事務局)

- ・来年度は、指定管理者と調整してもらえれば利用可能。

(神谷委員)

- ・先日の籠田公園でのイベント中に滑り台で遊んでいたらタバコの煙が気になったという話があった。
- ・公園緑地課で作った立ち寄りマップはお客様に好評いただいている。

(初井会長)

- ・見回り中に公園の中で喫煙をしている利用者がいた場合は声掛けをお願いしたい。

■閉会

(事務局より挨拶)

- ・令和7年度の公園協議会について、協議会委員の任期は令和8年3月31日までだが、今回の開催をもって令和7年度の公園協議会は終了とする。

閉会